

RA
& IL-6

第4回 RAとIL-6研究会

日時 2015年10月10日(土) 15:00~18:30

会場 ホテルニューオータニ東京 ザ・メイン宴会場階「鶴の間」
〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL03-3265-1111

ACCESS



電車でのアクセス

- 赤坂見附駅 (地下鉄 銀座線・丸ノ内線) D 紀尾井町口 3分
- 永田町駅 (地下鉄 半蔵門線) 7番口 3分
- 麹町駅 (地下鉄 有楽町線) 2番口 6分
- 四ツ谷駅 (JR 中央線・総武線、地下鉄 丸ノ内線・南北線) 麹町口・赤坂口 8分

お車でのアクセス

- 首都高速 霞ヶ関ランプより 約10分
- 東京より 約20分
- 新宿より 約15分
- 羽田空港より 約40分
- 成田空港より 約90分

※道路交通状況により所要時間は前後いたします。

すべての革新は患者さんのために

主催:  中外製薬株式会社

 ロシュ グループ

Opening Remarks 岸本 忠三 先生 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫機能統御学 教授

15:00 - 15:10

Session1

15:10 - 15:55

座長：三森 経世 先生 京都大学大学院医学研究科 臨床免疫学 教授

座長：熊ノ郷 淳 先生 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学 教授

1 新規バイオマーカー(14-3-3η)を用いたTCZの効果予測

演者：田中 良哉 先生 産業医科大学医学部第1内科学講座 教授

2 リンパ球解析からみたIL-6の役割

演者：藤尾 圭志 先生 東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ学 講師

3 濾胞性ヘルパーT細胞分化および関節リウマチの病態におけるBcl3の役割

演者：中島 裕史 先生 千葉大学大学院医学研究院 アレルギー・臨床免疫学 教授

〈休憩〉

Session2

16:10 - 17:15

座長：桃原 茂樹 先生 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター整形外科 教授

座長：西本 憲弘 先生 大阪リウマチ・膠原病クリニック／東京医科大学医学総合研究所 難病分子制御学部門 兼任教授

4 関節リウマチにおける自己抗体と各種生物学的製剤の治療効果

演者：佐藤 正夫 先生 社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院リウマチセンターセンター長

5 トシリズマブは血小板高値例でより効果を発現する

演者：松野 博明 先生 医療法人社団松緑会 松野リウマチ整形外科 院長 東京医科大学 客員准教授

6 KURAMAコホートにみるトシリズマブの適応と可能性

演者：橋本 求 先生 京都大学医学部附属病院 リウマチセンター 特定助教

7 The possibilities of RA treatment with biologics including IL-6 receptor inhibition in consideration subclinical CV risk

演者：Jon T Giles, MD MPH Columbia University,

〈休憩〉

Session3

17:30 - 18:25

座長：高崎 芳成 先生 順天堂大学医学部 膠原病内科 教授

座長：渥美 達也 先生 北海道大学大学院医学研究科 免疫・代謝内科学分野 教授

8 TCZの1stlineエビデンスを総括する

演者：石黒 直樹 先生 名古屋大学大学院医学系研究科 整形外科学 教授

9 IORRAからみたBeyond Remissionとトシリズマブ

演者：山中 寿 先生 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 所長

10 IL-6阻害によるサイトカインプロファイルと新たな可能性

演者：竹内 勤 先生 慶應義塾大学医学部 リウマチ内科 教授

Closing Remarks 山本 一彦 先生 東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ学 教授

18:25 - 18:30

※研究会終了後、情報交換会をご用意しております。